



令和3年度市民公開講座

流山版 自宅で最期まで過ごすための準備 ～在宅医療・介護の実際を知ろう～

流山市で行った高齢者等実態調査において、介護が必要になった時に「介護保険制度に基づいた介護サービスを利用して自宅で暮らしたい。」と回答した割合が最も多くなっています。いざという時に「望んだ暮らし」を選択でき、安心して療養生活を送るためには、療養に関する知識を深めていただくことが必要であると考え、「市民公開講座」や「おうち療養情報紙」での発信を続けています。

今年の市民公開講座は、在宅療養では様々な支援が受けられること、希望すれば最期まで自宅で過ごせることを知っていただけるよう、在宅医療・介護サービスの専門職から講話いただきました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮し、ウェブ上(YouTube)で期間限定(令和3年12月1日～12月10日)の配信でしたが、ご覧になった方からは「自宅で最期まで暮らせることがわかって安心した。」など御意見をいただき好評だったため、今号では講座の内容を紹介します！

講座内容1

自宅での療養を支える医療・介護について

～各講師から「提供している支援」をご紹介します～

訪問介護(介護員)



自宅での生活で困難な部分(調理、買い物、掃除などの家事や入浴・排泄など身体面)への支援を、他の職種と連携して行います。時には1日に複数回訪問して生活全般を支えます。
ヘルパーステーションきずな
訪問介護員 原田 誠さん

ケアマネジャー(介護支援専門員)



ご本人・ご家族と必要なサービスを相談し、意向に沿ってケアプランを提案、作成します。サービスの手配や調整を行います。ケアプランの目標達成に向け、サービス事業所と連携して、ご本人・ご家族を支えます。
エール居宅介護支援事業所
ケアマネジャー 岡村 佳恵さん

訪問入浴



持参した浴槽で、ヘルパー・看護師が入浴を介助します。他の職種と連携して安楽な入浴を提供します。
アサヒサンクリーン
在宅介護センター流山
訪問入浴 嘉陽田 瑛子さん

訪問看護(看護師)



病状の観察や薬の管理、医療処置、精神的ケア等を他の職種と連携して行い、その方らしく生活できるように支えます。医療と介護の橋渡し役を担います。病状が変化した場合、臨時で対応することもあります。
たんぼぼ訪問看護ステーション
看護師 佐藤 木綿子さん

多職種が連携し、
ご本人の希望に
沿った生活を送れるよう
支援します。



訪問診療(医師)



定期的に診療して全身の状態を判断し、必要な薬剤等の投与や処置を他の職種と連携して行います。病状の変化に対応して臨時で訪問して診療することもあります。
すすき内科クリニック
医師 伊藤 保彦さん

訪問歯科(歯科医・歯科衛生士)



歯の治療やお口を清潔にするケア、入れ歯の調整、飲み込み(嚥下機能)の検査を行い、他の職種と連携して「食べる」を支えます。
たつみ訪問歯科クリニック 歯科医師 皆川 竜身さん

訪問薬剤(薬剤師)



調剤した薬を届け、薬の説明や疑問にお答えします。他の職種と連携して薬の服用状況を確認し、生活状況にあった服用方法を提案します。安心して薬を服用できるようにします。
みずき薬局平和台店 薬剤師 高杉 幹さん

講座内容2

看取りの 때가近づいている、自宅療養者への支援について

～「自宅で最期まで過ごしたい」との思いを、多職種で連携してどのように支えるか 2つのモデルケースを通して講話がありました～

(ケース1)

- ・がんのため療養中。ご本人の希望にて自宅で過ごしている。主な介護者は妻。
- ・生活に影響なく過ごしていたが、急激に身体機能が低下し、自力で動くことが難しくなっている。

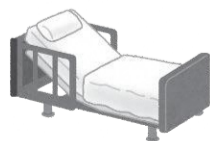
床ずれなどを予防するための支援

- ・ベッドのエアマットを導入する
- ・皮膚など状態の変化時、早期に対応する

ご家族への支援

- ・介護負担が軽減するように支援する
- ・看取りへの不安が軽減するように支援する

知りたい情報や不安などをお聞きして、症状への対処法や介護の仕方をお教えするなど、ご家族を支えます。



おむつ交換など、ご家族が大変だと感じている介護をお手伝いします。



痛みなど、苦痛をやわらげるための支援

- ・各職種が薬の投与状況を共有して、薬を適切に投与できるように支援する
- ・入浴など、安楽な(ご本人が希望する)ケアを行う
- ・ご本人の言葉を傾聴するなど心のケアを行う

内服薬の他、座薬や貼り薬、注射などの方法があります。状態に合った方法で薬を投与して苦痛をやわらげます。

からだの機能を保つための支援

- ・楽に動けるよう、福祉用具(ベッドなど)を導入する
- ・食べたいものを食べられるように、口の中を清潔に保つケアを行う

食べる量が減少→口の中が乾燥して汚れが蓄積→食べにくくなる、悪循環を防ぐため、口の中を清潔にします。

状態の変化に備えた支援

- ・24時間対応できる体制
- ・状態が急に変化した時の連絡体制についての申し合わせを行う

状態によっては「入院したい」と希望が変化することもあります。その時には入院の手配をします。